

事業番号	08 02 06	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農村交流活性化支援事業				担当課	部局	企画振興部	農政部
総合5か年計画	プロジェクト	・2-2-5 農山村産業クラスター形成プロジェクト ・6-2-3 誇りある暮らし実現プロジェクト			課・室	地域振興課	農村振興課	
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 5 移住・交流の推進			E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp noson@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H14 ~		

1 事業の概要

目指す姿	農林業体験等を活用した学習旅行の受入、都市農村交流施設の整備等への支援によるグリーン・ツーリズムの推進や都市農村交流の促進を通じて、農山村の活性化を図る。 【成果目標】都市農村交流人口：(H17)514,000人→目標(H26)578,000人→(H29)600,000人																			
現状(予算編成時)	○農山村においては、担い手の減少や高齢化、地域における共同活動の低下などにより、自然豊かな農村の原風景や生活の営み(暮らし)の維持が困難になる地域が拡大している。 ○都市住民においては、「自然の中で体を動かしたい」、「農林漁業体験をしたい」、「郷土料理を食べたい」、「景観を眺めたい」といった「ふるさと回帰志向」が高まっている。 ○「長野県移住・交流推進戦略」(H24.3.16)において、グリーン・ツーリズム、児童生徒の教育旅行を推進戦略として位置付け、行政と民間の協働による全県的な取組を展開している。																			
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】 都市農村交流対策事業においては県が民間、市町村と連携して広域的な取組を展開することで、相乗的効果が期待できる。また、やすらぎ空間整備事業においては、「農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律」に基づく計画を市町村が作成する必要があり、適正な計画策定及び進捗管理を行う上で県の関与が必要である。※新たな総合5か年計画、第2期長野県食と農業農村振興計画																	
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)																			
	都市農村交流人口 H26 578,000人																			
	② 事業内容 (単位:千円)																			
	項目	実施方法	H26事業実績		H27(当初)															
都市農村共生・対流総合対策事業	直接	・都市農村交流商談会の実施(1回) ・都市農村交流シンポジウムの開催(2回) ・都市農村交流促進しおりの作成(15万部)		2,500																
「国際青少年交流農村宣言」推進事業		「国際青少年交流農村宣言」推進事業のシートへ記載		-																
やすらぎ空間整備事業	交付金	滞在型市民農園や都市農村交流施設等の整備を行う市町村への支援		67,639																
		合計	70,139	71,284	1,223															
事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度															
	前年度繰越				28,803															
	当初予算	4,011	6,960	70,139	1,223															
	補正予算	-1,800		2,012																
	合計(A)	2,211	6,960	72,151	30,026															
	Aの財源																			
	一般財源	1,233	1,233																	
	県債																			
	国庫支出金		4,749	72,151																
	その他	978	978	0	30,026															
決算額(B)	2,211	6,489	71,284																	
概算人員費																				
職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40																
概算人員費(C)	3,303	3,303	3,303	3,303																
概算事業費(B(A)+C)	5,514	9,792	74,587	33,329																
成果目標の達成状況	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">H25末(実績)</th> <th colspan="3">H26</th> <th rowspan="2">H27目標</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>成果</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>都市農村交流人口</td> <td>608,073人</td> <td>578,000人</td> <td>599,351人</td> <td>達成</td> <td>580,000人</td> </tr> </table>					項目	H25末(実績)	H26			H27目標	目標	成果	達成状況	都市農村交流人口	608,073人	578,000人	599,351人	達成	580,000人
項目	H25末(実績)	H26			H27目標															
		目標	成果	達成状況																
都市農村交流人口	608,073人	578,000人	599,351人	達成	580,000人															
目標に対する成果の状況	都内大学のイベントと連携し学生及び来場者向けにPRを行い、都市と農村の交流活性化を促した。また、滞在型市民農園の実施設設計を1箇所まで実施し、都市農村交流人口の増加を図った。																			

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	市町村、関係団体等と連携を図りながら、グリーン・ツーリズムの推進や農林業体験等を活用した学習旅行の受入に加えて、「国際青少年農村交流宣言」の普及による都市農村交流の促進を通じて農山村の活性化を図る。